

地域経済イノベーションサイクルの仕組み (地域経済循環創造事業交付金)

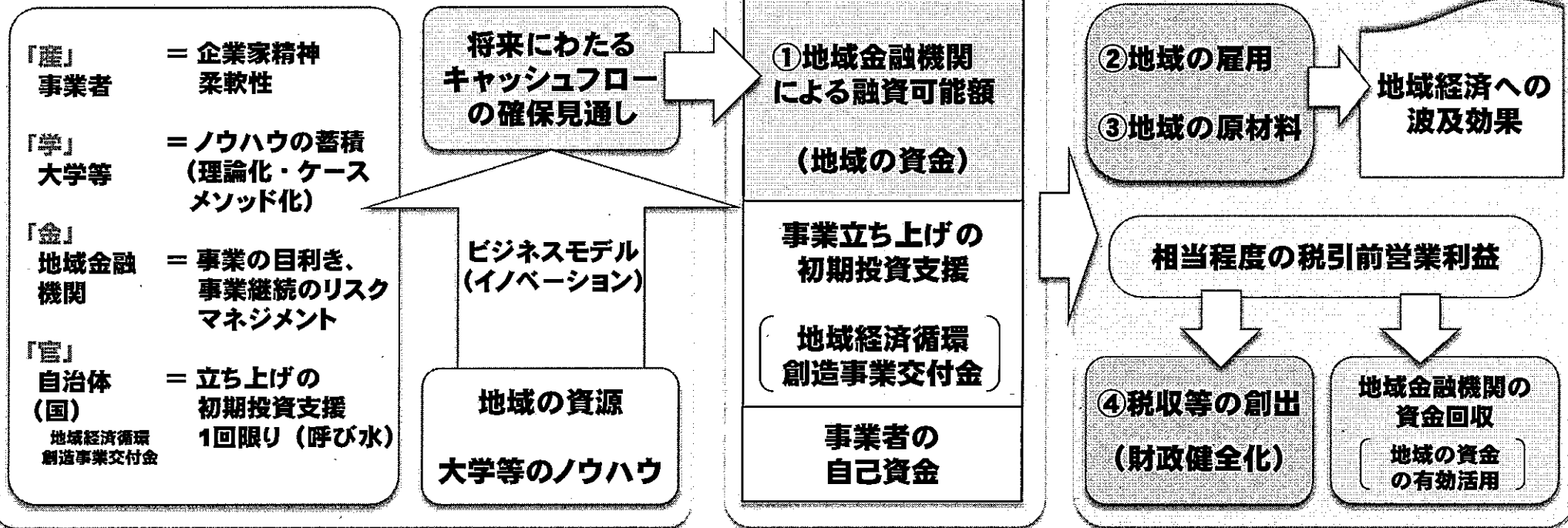
地域への貢献

先行モデルにみる効果実証
(地域経済循環創造事業交付金)

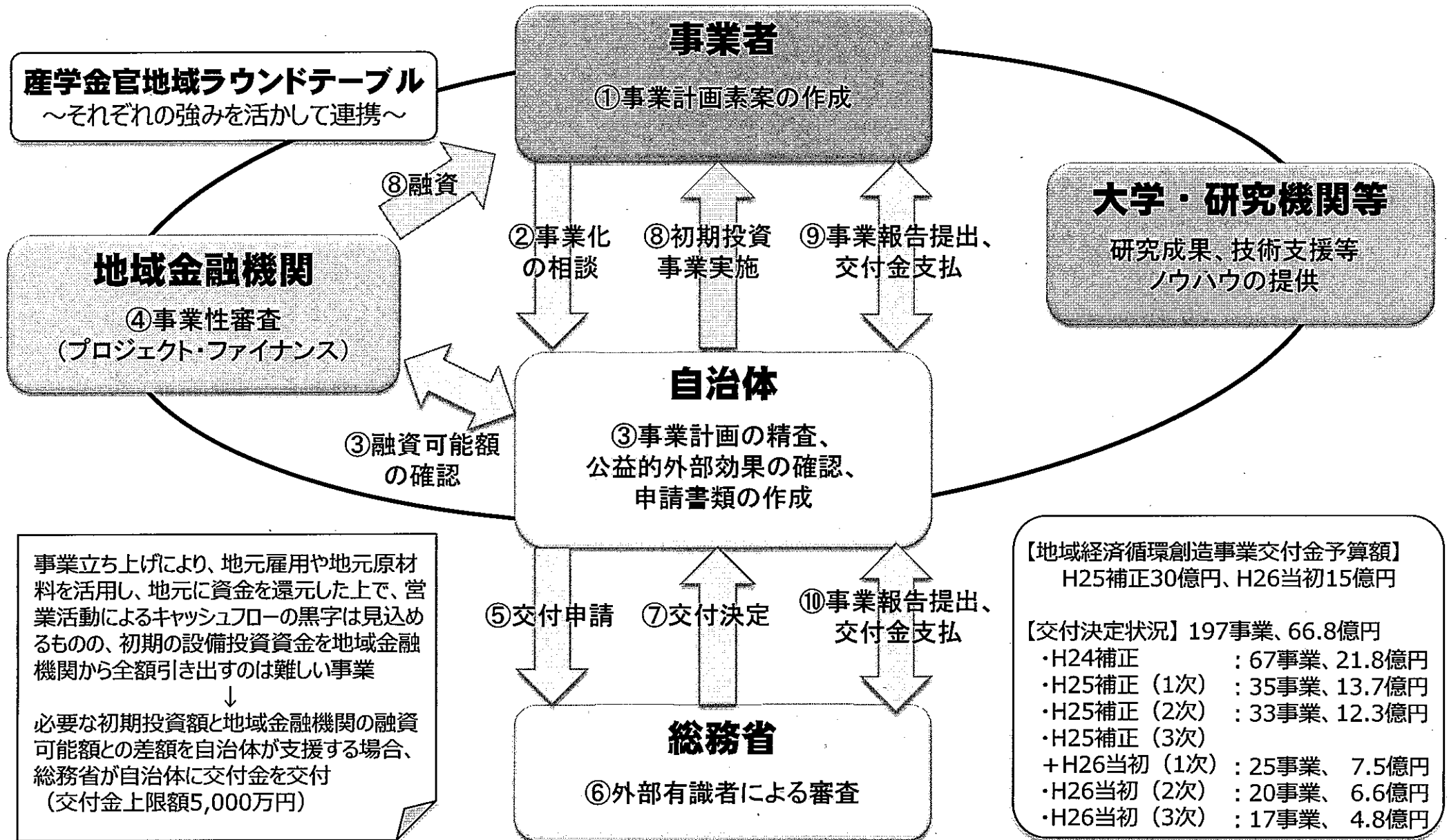
ローカル10,000プロジェクトの推進
[交付予定額66.8億円 交付対象197事業]

- | | | |
|---------------|------|---|
| ① 投資効果 | 2.1倍 | (初期投資見込額 139.2億円) |
| ② 地元雇用創出効果 | 4.2倍 | (地元人材雇用見込額 (想定7年) 280.4億円) |
| ③ 地元産業直接効果 | 8.8倍 | (地元原材料費見込額 (想定7年) 586.3億円) |
| ④ 課税対象利益等創出効果 | 3.5倍 | (課税対象利益等見込額 (税引前営業利益+減価償却費相当) (想定7年) 236.6億円) |
| ⑤ 地域課題解決効果 | | 廃棄物等の商品化、一次産品等高付加価値化、地元資源活用にぎわい創出、流出資金域内還元 |

産学金官地域ラウンドテーブル ~それぞれの強みを活かして連携~



地域経済循環創造事業交付金の申請等の流れ





参考資料

地域経済循環創造事業交付金の交付決定について

交付決定状況

事業数：197事業
交付決定金額：66.8億円

H24補正		67事業	21.8億円
H25補正 H26当初	第1次交付決定	35事業	13.7億円
	第2次交付決定	33事業	12.3億円
	第3次交付決定	25事業	7.5億円
	第4次交付決定	20事業	6.6億円
	第5次交付決定	17事業	4.8億円
小計		130事業	45.0億円

※予算額
H25補正:30億円
H26当初:15億円

経済波及効果

【197事業合計】

- ① 投資効果
 2. 1倍 (投資喚起見込額72.4億円)
- ② 経済循環創造効果
 - 2.2. 1倍 (売上高 (想定7年) 1,475.9億円)
- ③ 地元雇用創出効果
 4. 2倍 (地元人材雇用見込額 (想定7年) 280.4億円)
- ④ 地元産業直接効果
 8. 8倍 (地元原材料費見込額 (想定7年) 586.3億円)
- ⑤ 課税対象利益等創出効果
 3. 5倍 (課税対象利益等見込額 (税引前営業利益+減価償却費相当) (想定7年) 236.6億円)

(⑮)補正+⑯)当初 130事業)

- ① 投資効果
 2. 1倍 (投資喚起見込額49.3億円)
- ② 経済循環創造効果
 - 2.4. 8倍 (売上高 (想定7年) 1,115.0億円)
- ③ 地元雇用創出効果
 4. 5倍 (地元人材雇用見込額 (想定7年) 201.9億円)
- ④ 地元産業直接効果
 10. 1倍 (地元原材料費見込額 (想定7年) 456.4億円)
- ⑤ 課税対象利益等創出効果
 3. 7倍 (課税対象利益等見込額 (税引前営業利益+減価償却費相当) (想定7年) 168.1億円)

地域課題解決効果

- ・ 一次産品等高付加価値化モデル 83事業
- ・ 流出資金域内還元モデル 30事業

- ・ 地元資源活用にごわい創出モデル 49事業
- ・ 廃棄物等の商品化モデル (リサイクル効果) 35事業

地域経済イノベーションの経済循環創造効果（主な例）

域内消費（域内の需要）

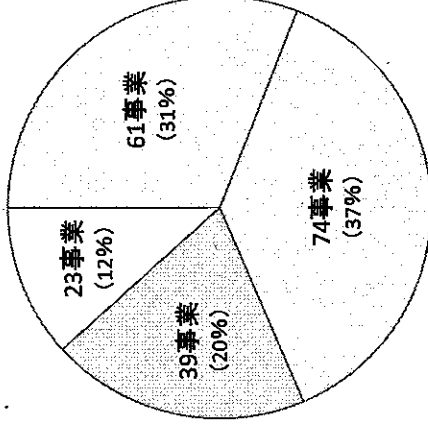
1. 代替サービス（資金の流出を防ぐ）

- (事例)
- ① 北海道芦別市
温泉ホテルなどの燃料に放置間伐材を活用した木質チップを採用し、地域の林業者に還元
 - ② 徳島県
徳島県の地鶏(阿波尾鶏)の鶏糞を肥料として活用した循環工サを開発し、地域に還元
- ・ キャッシュフローは確実
 - ・ 低コストのビジネスモデルをどう構築するのか
 - ・ 更なる発展可能性の検討

2. 新サービス（比較的固く見込める）

- (事例)
- ① 奈良県三郷町
地域から回収した生ごみから製造した肥料を活用し、花や野菜の苗を生産、販売
 - ② 熊本県
軽油代替燃料(BDF)及びBDFを活用したB5燃料(バイオディーゼル5%混合軽油)を生産、販売
- ・ 住民の需要を察案に見込む
 - ・ 他の事業との相乗効果の検討
 - ・ 更なる発展可能性の検討

197事業の内訳



域外消費（リスク大）

3. 観光など域内販売（域内交流人口の活用）

- (事例)
- ① 奈良県斑鳩町
法隆寺門前商店街の築140年の古民家をカフェに改装し、まち歩き拠点として開放
 - ② 熊本県八代市
特産のシシカメガキ(クマモトオオイスター)を提供するカキ小屋をつくり、にぎわいを創出
- ・ 既存の交流人口を取り込む
 - ・ 交流人口増加に向けた域外マーケティングのあり方
 - ・ 延べ滞在人口増に向けた検討

4. 新商品など域外販売（一次産品等の高付加価値化）

- (事例)
- ① 青森県青森市
ナマコ加工廃棄物から機能性成分を抽出し、高付加価値化(靴下・化粧品等に活用)
 - ② 長崎県島原市
駆除インシシ加工精肉の安定的流通チャネルを構築し、ジビエブランドを確立
- ・ ハイリスクハイリターン
 - ・ どこまでリスクに耐えられるか

域内消費（域内の需要）

1. 代替サービス（資金の流出を防ぐ）

- (参考モデル事例)
- ① 北海道芦別市
 - ② 徳島県
 - ③ 北海道石狩市
 - ④ 宮城県蔵王町
 - ⑤ 山形県最上町
- ・ キャッシュフローは確実
 - ・ 低コストのビジネスモデルをどう構築するのか
 - ・ 更なる発展可能性の検討

2. 新サービス（比較的固く見込める）

- (参考モデル事例)
- ⑥ 佐賀県江北町
 - ⑦ 熊本県
 - ⑧ 奈良県三郷町
 - ⑨ 福井県
 - ⑩ 静岡県静岡市
 - ⑪ 兵庫県養父市
 - ⑫ 徳島県
 - ⑬ 長崎県壱岐市
- ・ 住民の需要を察案に見込む
 - ・ 他の事業との相乗効果の検討
 - ・ 更なる発展可能性の検討

域外消費（リスク大）

1. 観光など域内販売（域内交流人口の活用）

- (参考モデル事例)
- ⑭ 兵庫県豊岡市
 - ⑮ 石川県輪島市
 - ⑯ 埼玉県秩父市
 - ⑰ 三重県鳥羽市
 - ⑱ 熊本県八代市
 - ⑲ 奈良県斑鳩町
 - ⑳ 徳島県神山町
 - ㉑ 福岡県葉山町
- ・ 既存の交流人口を取り込む
 - ・ 交流人口増加に向けた域外マーケティングのあり方
 - ・ 延べ滞在人口増に向けた検討

2. 新商品など域外販売（一次産品等の高付加価値化）

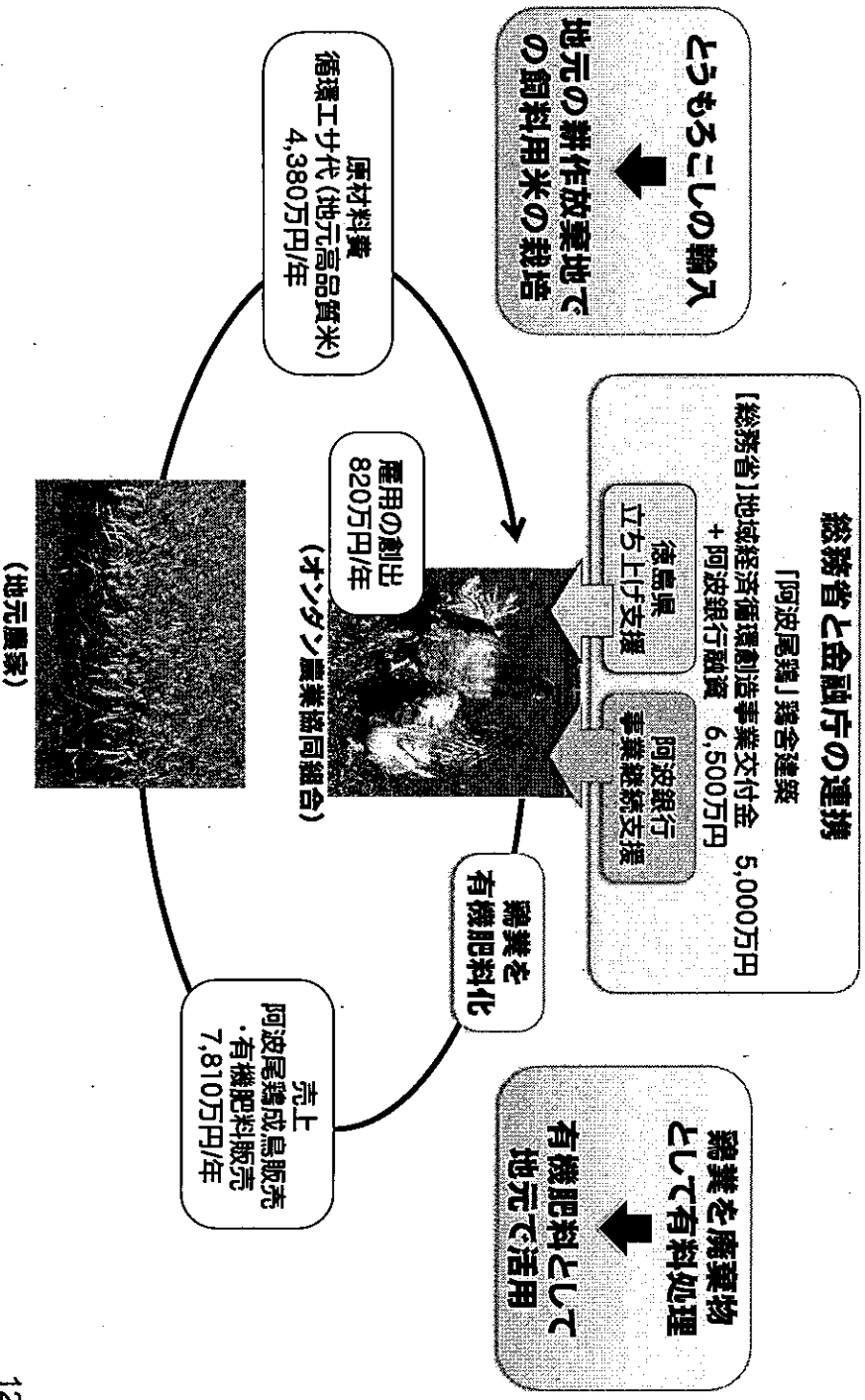
- (参考モデル事例)
- ㉒ 北海道
 - ㉓ 北海道江別市
 - ㉔ 北海道夕張市
 - ㉕ 青森県青森市
 - ㉖ 長崎県島原市
 - ㉗ 東京都町田市
 - ㉘ 愛知県岡崎市
 - ㉙ 兵庫県南あわじ市
 - ㉚ 和歌山県日高川町
 - ㉛ 島根県奥出雲町
 - ㉜ 徳島県
 - ㉝ 徳島県
 - ㉞ 熊本県合志市
 - ㉟ 鹿児島県鹿屋市
- ・ ハイリスクハイリターン
 - ・ どこまでリスクに耐えられるか

地域経済イノベーションの基本的なモデル（例）

地域経済イノベーションサイクル施策例 (①北海道苫別市)



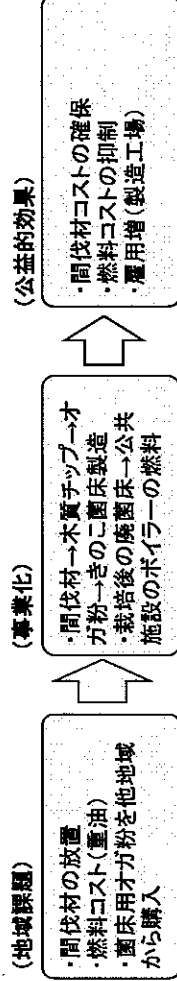
地域経済イノベーションサイクル施策例 (②徳島県)



地域経済イノベーションサイクルの施策例

③北海道石狩市（地域林材カスケード利用推進事業）

- ・事業主体：社会福祉法人はるにれの里
- ・交付予定額：3,630万円
- ・金融機関：札幌信用金庫
- ・融資喚起見込額：2,420万円

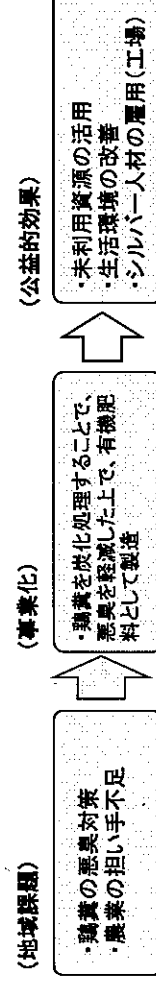


＜事業計画＞

売上高 1,320万円	チップ 270万円	地域資源
炭質炭燃料販売	人件費 370万円	地元雇用創出
	その他(雑費等) 200万円	域外からの購入 税負担+運送原資 +業績償却相当
	480万円	

④宮城県蔵王町（蔵王町資源循環型炭化鶏糞供給事業）

- ・事業主体：一般社団法人蔵王エコネット
- ・交付予定額：5,000万円
- ・金融機関：七十七銀行
- ・融資喚起見込額：1,655万円



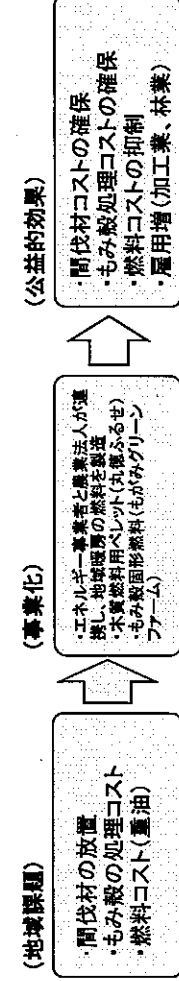
＜事業計画＞

売上高 3,070万円	鶏糞等 290万円	地域資源
炭化鶏糞販売	人件費 1,090万円	地元雇用創出
	その他(雑費等) 1,240万円	域外からの購入 税負担+運送原資 +業績償却相当
	450万円	

地域経済イノベーションサイクルの施策例

⑤山形県最上町（未利用バイオマスを活用した新たなビジネスによる地域経済循環創造事業）

- ・事業主体：農業生産法人もがみグリーンファーム株式会社、株式会社丸徳ふるせ
- ・交付予定額：2,930万円
- ・金融機関：新庄信用金庫
- ・融資喚起見込額：800万円



＜事業計画＞

売上高 1,180万円	間伐材等 70万円	地域資源
木質ペレット もみ殻固形燃料販売	人件費 670万円	地元雇用創出
	その他(雑費等) 230万円	域外からの購入 税負担+運送原資 +業績償却相当
	210万円	

地域経済イノベーションサイクルの施策例

⑥佐賀県江北町 (空き店舗再生による地域経済循環創造事業)

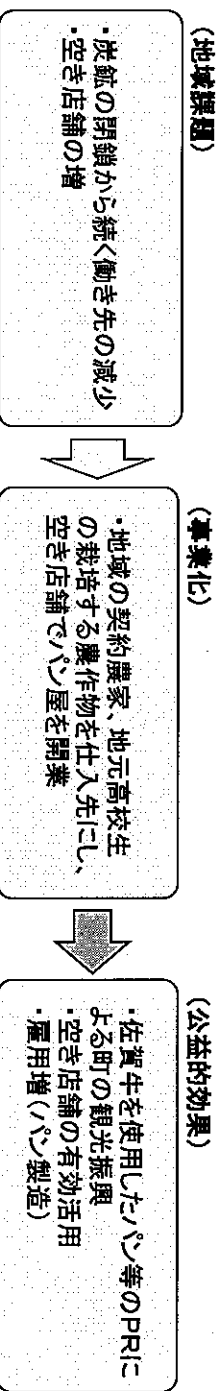
- ・事業主体:個人経営
- ・交付予定額:3106万円
- ・金融機関:九州ひぜん信用金庫
- ・融資喚起見込額:280万円
- ・融資期間:5年



投資効果	1. 9倍 ((交付金額+融資額)÷交付金額)
地元雇用創出効果	2. 9倍 (地元雇用人員費(融資期間分)÷交付金額)
地元産業直接効果	5. 6倍 (地元産材料費(融資期間分)÷交付金額)
課税対象利益等創出効果	4. 5倍 ((8317円×課税利益+74000円×雑所得額)×(融資期間分)÷交付金額)
地域課題解決効果	一次産品等高付加価値化モデル

＜事業計画＞

売上高 900万円	地元産 農産物等 350万円	= 地域資源
原 材 費	人件費 180万円	= 地元雇用創出
学生等と連携して 開発した野菜パ ンの販売	その他(先般代等) 90万円	= 域外からの購入
	280万円	= 税負担+返済原資 +減価償却相当



15

地域経済イノベーションサイクルの施策例 (閑話休題～地域で活躍する女性たちへの支援例～①)

⑥佐賀県江北町 (空き店舗再生による地域経済循環創造事業)

空き店舗を再生し、ふるさとで東京仕込みの高品質のパンを提供して地域のにぎわいを創っている事業

- 佐賀県江北町(人口9千人)
- 事業者:稲富ななこさん(33才)



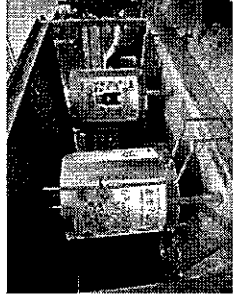
○ 地元の高校卒業後、好きなパン職人になるため、東京・高田馬場の菓子学校で学んだ後、東京のパン屋で12年働くものの、添加物がなく素材の味を生かせるパンを地元の食材を活用して作りたいと帰郷。しかし、貯金も無く、起業できなかったところ、江北町役場に相談し、空き店舗を斡旋、地元の信用金庫を紹介してもらい、地域経済イノベーションサイクルでパン屋「アールバカ」を開業(平成25年7月)。これを聞いた地元の人々が支援しようということで、隣の空き店舗を改修し、イベントスペースを作り、パン以外の飲料等を提供し、稲富さんと協力してにぎわい拠点をつくっている。そこで、地域おこし協力隊(35歳、23歳の女性)が活動。

16

地域経済イノベーションイノベーションの施策例

①熊本県（県民総ぐるみでのBDF燃料普及による熊本県経済・エネルギー循環創造事業）

- ・事業主体：東光石油株式会社
- ・交付予定額：5,000万円
- ・金融機関：肥後銀行
- ・融資喚起見込額：2,500万円
- ・融資期間：10年



＜事業計画＞

- ・投資効果
 - 1. 5倍（交付金額＋融資額）÷交付金額
- ・地元雇用創出効果 1. 3倍（地元雇用人件費（融資期間分）÷交付金額）
- ・地元産業直接効果 4. 2. 1倍（地元原材料費（融資期間分）÷交付金額）
- ・課税対象利益等創出効果 2. 2倍（BDF燃料普及による課税対象利益等（融資期間分）÷交付金額）
- ・地域課題解決効果 廃棄物等の商品化モデル（リ）サイクル効果

売上高	23,810万円	B5燃料の原料となるB100燃料、煤油	21,070万円	地域資源
人件費	670万円	その他（備品代等）	950万円	地元雇用創出
B5燃料 ＝バイオディーゼル 5%混合軽油	1,120万円			域外からの購入 税金負担＋返済原資 ＋減価償却相当

（地域課題）

- ・一般家庭等からの廃食用油の投棄による地下水汚染

（事業化）

- ・一般廃食用油を活用したBDF製造事業
- ・BDFを活用したB5燃料製造事業
- ・廃食用油の回収ルートとB5燃料の販売ルートの確保
- ※B5燃料＝バイオディーゼル5%混合軽油

（公益的效果）

- ・地下水汚染の減
- ・雇用増（BDF製造、B5燃料製造）

地域経済イノベーションイノベーションの施策例（⑧奈良県三郷町）

観光と福祉の連携プロジェクト

～生ごみから製造した肥料を活用し、花や野菜の苗を生産・出荷～

生ごみ資源化設備導入、ハウス改修工事等
【総務省】地域経済循環創造事業交付金 1,600万円
+ 大和信用金庫融資 1,620万円

三郷町
立ち上げ支援

大和信用金庫
事業継続支援

（株式会社農業公園信貴山のどか村）



分解

信貴山地域の旅館・ホテル、福祉施設等から排出される生ごみ



分解された水（有機物を含む）を液体肥料として活用



遊休ハウスを改修し、花や野菜の苗を生産

栽培

出荷

（農業法人）

液体肥料を活用したイチゴ栽培

地域課題の解決

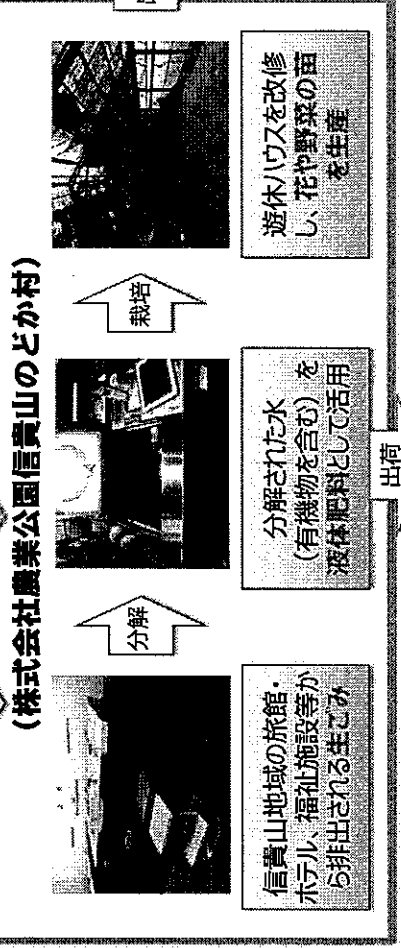
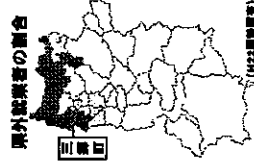
○ベッドタウンとしての課題

- （県外就業率三郷町45.5%、全国平均8.8%）
- ・長距離通勤に伴う低い女性就業率（職住が分離され、仕事と家庭の両立が困難）
- ・団塊の世代の退職等により、地域回帰する高齢者層が増加（希薄化した地域とのつながりの再構築）

○障がい者就労支援事業所の廃止

- ・町内の障がい者就労支援を行う事業所が平成24年度に事業を廃止し、町内に就労支援の場がなくなる

→地元にて女性、高齢者、障がい者の雇用を創出

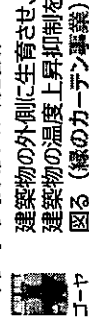


（観光協会、町内自治会）



観光事業として、信貴山大門ダム周辺や道路に植栽

（小中学校等公共施設）



建築物の外側に生育させ、建築物の温度上昇抑制を図る（緑のカーテン事業）

（地元農家）



地元農家がたまねぎの苗を生育し、学校給食に使用（給食使用野菜1位）

地域経済イノベーションサイクルの施策例

⑨ 福井県 (中央卸売市場を活用した福井県農産物「新物流構築」事業)

- ・事業主体: 大同青果株式会社(福井市)
- ・交付予定額: 1,500万円
- ・金融機関: 福井銀行
- ・融資喚起見込額: 1,000万円

(地域課題)

- ・小規模生産、過剰収穫、規格外品の発生による販売機会の喪失
- ・農業従事者の減少

(事業化)

- ・市場に出回らない県産野菜を市場内に直売業荷し、中央卸売市場内に直売所を設け販売
- ・直売所をハブとして、生産者と作付状況をネットワーキ化し、小売店や食品加工業者へ提供

(公益的効果)

- ・農業サブライイチェーンの構築による市場活性化
- ・農業生産体制強化、収益体制の確立
- ・雇用増(販売、集荷、農業)

<事業計画>

売上高 5,200万円	地元農産物 2,900万円	地域資源
農産物 1,050万円	人件費 1,800万円	地元雇用創出
生鮮野菜 1,050万円	その他(経費等) 150万円	域外からの購入
加工野菜販売 150万円	510万円	福島県十返済農産 + 地域雇用創出相当

⑩ 静岡県静岡市 (住民参加型放置竹林解消モデル(「しずおか型」))

- ・事業主体: 丸徳商事有限公司
- ・交付予定額: 5,000万円
- ・金融機関: 静岡銀行
- ・融資喚起見込額: 5,400万円

(地域課題)

- ・放置竹林の著しい増加による農地等の荒廃
- ・下水汚泥の処理コスト
- ・耕作放棄地の増加

(事業化)

- ・住民が破壊した竹から作るバブなど下水汚泥を混合・集積させた有機堆肥を製造
- ・同堆肥を活用して耕作放棄地で近郊野菜等を栽培(トマト、ナス、ブロッコリー等)
- ・新農産物のサービスマーケット等で新たな地元特産物を販売

(公益的効果)

- ・放置竹林の減少
- ・住民参加のビジネス化
- ・耕作放棄地の活用
- ・新規地元特産品の創出
- ・雇用増(堆肥製造販売等)

<事業計画>

売上高 6,800万円	竹やぐら等 2,880万円	地域資源
堆肥販売 2,900万円	人件費 2,700万円	地元雇用創出
農業物処理費 390万円	その他(経費等) 860万円	域外からの購入
農産物販売 860万円		福島県十返済農産 + 地域雇用創出相当

地域経済イノベーションサイクルの施策例

⑪ 兵庫県養父市 (養父市の間伐材を利用した加温設備による高糖度トマトの連年での本格生産と6次産業化ビジネスの展開)

- ・事業主体: 八鹿鉄工株式会社
- ・交付予定額: 5,000万円
- ・金融機関: 但馬信用金庫
- ・融資喚起見込額: 5,700万円

(地域課題)

- ・間伐材の放置
- ・燃料コスト(LPGガス)
- ・農業従事者の減少

(事業化)

- ・間伐材を熱源とした木質ボイラーを利用した高糖度トマトの生産設備や規格外トマトの加工場の整備

(公益的効果)

- ・間伐材コストの確保
- ・燃料コストの抑制
- ・雇用増(農業)

<事業計画>

売上高 8,800万円	間伐材 1,510万円	地域資源
高糖度トマト 加工品販売 3,180万円	人件費 860万円	地元雇用創出
その他(経費等) 3,150万円		域外からの購入
		福島県十返済農産 + 地域雇用創出相当

⑫ 徳島県 (循環型社会にむけた「クラフトビールの量り売り」を活用した地域経済の好循環実現)

- ・事業主体: 株式会社スベック(徳島市)
- ・交付予定額: 2,420万円
- ・金融機関: 阿波銀行
- ・融資喚起見込額: 1,500万円

(地域課題)

- ・生産過剰分の「ゆこう(柑桔類)」の未利用
- ・過疎化、高齢化による産業衰退

(事業化)

- ・上勝町の湧き水とゆこうを活用したクラフトビールの製造
- ・通常の瓶による販売のほか、通い瓶による量り売り

(公益的効果)

- ・未利用資源の活用
- ・流通コストの削減、環境への負担軽減
- ・雇用増(製造業)

<事業計画>

売上高 1,200万円	ゆこう等 330万円	地域資源
ビール販売 1,200万円	人件費 420万円	地元雇用創出
	その他(経費等) 270万円	域外からの購入
	180万円	福島県十返済農産 + 地域雇用創出相当

地域経済イノベーションサイクルの施策例

⑬長崎県杵岐市（漁船廃油と、冬季の遊休労働力を活用した、ナマコ等の加工・販売等の加工・販売及び養殖による地域資源循環の創造）

- ・事業主体：杵岐東部漁業協同組合
- ・交付予定額：5,000万円
- ・金融機関：十八銀行
- ・融資喚起見込額：1,549万円

（地域課題）

・漁船廃油の処理コスト
・冬季の収入不足を要因とした海女の後継者不足

（事業化）

・ナマコ、カキ等の養殖加工
・廃油ボイラーを導入して、塩蔵ナマコの商品化（中国向け）

（公益的効果）

・海女漁の経営安定
・燃料コストの抑制
・雇用増（加工スタッフ、漁業）

＜事業計画＞

売上高 3,900万円	地元漁産物 750万円	地域資源
ナマコ加工品、カキ等販売	人件費 1,770万円	= 地元雇用創出
	その他（体感費等） 620万円	= 域外からの購入
	760万円	= 税負担+返済原資 +減価償却相当

⑭兵庫県豊岡市（城崎温泉おもてなしステーション事業）

- ・事業主体：全但バス株式会社
- ・交付予定額：2,900万円
- ・金融機関：但馬銀行
- ・融資喚起見込額：3,000万円

（地域課題）

・地域内での移動手段が不十分
・外国人観光客の受け入れ体制が不十分

（事業化）

・バス事業、タクシー事業と連携した着地型観光商品販売
・バス案内所を改築し、コンシェルジュ施設や外国人向け有料コールセンターを設置

（公益的効果）

・地域全体の観光振興
・交流人口の増加
・雇用増（観光業）

＜事業計画＞

売上高 5,400万円	民間導入代等 3,430万円	地域資源
観光型ツアー商品、特産品販売	人件費 750万円	= 地元雇用創出
	その他（体感費等） 420万円	= 域外からの購入
	800万円	= 税負担+返済原資 +減価償却相当

21

地域経済イノベーションサイクルの施策例

⑮石川県輪島市（輪島門前地区でブドウ栽培からワインの製造まで行う6次産業化モデル事業）

- ・事業主体：株式会社ハイドワイナリー
- ・交付予定額：4,740万円
- ・金融機関：北國銀行
- ・融資喚起見込額：4,000万円
- ・融資期間：16年



- ・投資効果 1.8倍（交付金額+融資額）÷交付金額
- ・地元雇用創出効果 5.6倍（地元雇用人件費（融資期間分）÷交付金額）
- ・地元産業直接効果 5.8倍（地元原材料費（融資期間分）÷交付金額）
- ・課税対象利益等創出効果 3.6倍（※課税対象利益+減価償却相当）（融資期間分）÷交付金額
- ・地域課題解決効果 一次産品等高付加価値化モデル

＜事業計画＞

売上高 7,460万円	原料ブドウ 1,720万円	地域資源
ワイン販売	人件費 1,650万円	= 地元雇用創出
	その他（広告宣伝等） 3,020万円	= 域外からの購入
	1,070万円	= 税負担+返済原資 +減価償却相当

（地域課題）

・基幹産業である輪島塗製品の生産額の減少
・観光地の入込数の減少

（事業化）

・耕作放棄地を活用し、ミネラル分を多く含んだ土壌を活用したワイン用ブドウを栽培
・輪島塗を用いたグラス商品を併せて開発し、観光客に提供

（公益的効果）

・農産物の多角化
・耕作放棄地の解消
・交流人口の増加
・雇用増（ブドウ農家）

22

地域経済イノベーションサイクルの施策例

⑩埼玉県秩父市 (秩父産葡萄を活用したワインの製造販売と農家レストランの展開による地域需要創造事業)

- ・事業主体:株式会社秩父フナーリーステイクアウト
- ・交付予定額:5,000万円
- ・金融機関:埼玉県信用金庫
- ・融資喚起見込額:2,735万円

(地域課題)
・通過型観光から滞在型観光への転換
・耕作放棄地の増加

(事業化)
・地元プロダク100%で醸造するワインナリーを開設
・ワインのほか、地元農産物を使用した農家レストランを開設

(公益的効果)
・観光型農業の振興
・耕作放棄地の活用
・地域産品の高付加価値化
・雇用増(プロダク栽培、工場)

<事業計画>

売上高 6,960万円	ワイン、農家レストラン飲食販売	材料費 1,900万円	人件費 2,100万円	その他(光熱費等) 1,500万円	地域資源	地元雇用創出	域外からの購入 投資型十返済原資 +減価償却相当
----------------	-----------------	----------------	----------------	----------------------	------	--------	--------------------------------

⑪三重県鳥羽市 (健康、伝統をテーマとした「鳥羽マルシェ」食のしあわせ循環創造事業)

- ・事業主体:鳥羽マルシェ有責任事業組合
- ・交付予定額:5,000万円
- ・金融機関:三重県信用漁業協同組合連合会
- ・融資喚起見込額:2,000万円

(地域課題)
・生産物価格低迷による農水産業者の経営の不安定
・就業者の高齢化、減少

(事業化)
・公設民営型の農水産物直売所を拠点として、農協と協力が連携し、「しあわせい創出

(公益的効果)
・市場産品の販路確保
・交流人口の増加
・雇用増(販売業、農業)

<事業計画>

売上高 29,950万円	農水産物販売	地元産物 19,700万円	人件費 4,980万円	その他(光熱費等) 3,200万円	地域資源	地元雇用創出	域外からの購入 投資型十返済原資 +減価償却相当
-----------------	--------	------------------	----------------	----------------------	------	--------	--------------------------------

地域経済イノベーションサイクルの施策例

⑫熊本県八代市 (クマモトオイスター再発見事業)

- ・事業主体:鏡町漁業協同組合カキ生産部会
- ・交付予定額:1,800万円
- ・金融機関:八代地域農業協同組合
- ・融資喚起見込額:1,000万円
- ・融資期間:5年



投資効果
1. 6倍 (交付金額+融資額)÷交付金額
 地元雇用創出効果 0.6倍 (地元雇用人件費(融資期間分)÷交付金額)
 地元産業直接効果 2.3倍 (地元原材料費(融資期間分)÷交付金額)
 課税対象利益等創出効果 1.0倍 (税引前経常利益+固定資産売却益(融資期間分)÷交付金額)
 地域課題解決効果 地元資源活用にしあわせい創出モデル

<事業計画>

売上高 1,650万円	カキ等の地元海産物代 840万円	材料費 200万円	人件費 270万円	その他(光熱代等) 340万円	地域資源	地元雇用創出	域外からの購入 投資型十返済原資 +減価償却相当
----------------	---------------------	--------------	--------------	--------------------	------	--------	--------------------------------

(地域課題)
・特産シカマガキ(クマモトオイスター)の採取地にとどまっている

(事業化)
・アメリカで評判料理となっているクマモトオイスターを提供する拠点を
つくり、しあわせい創出と高付加価値

(公益的効果)
・市場産品の販路確保
・交流人口の増加
・雇用増(漁業者)

⑩熊本県八代市（クマモトオイスター再発見事業）

女性スタッフ（漁師の夫人・娘さん達）による地元食材を活かしたカキ小屋事業



- 熊本県八代市内の旧鏡町
- 事業者:地元の漁協(主に漁師のご夫人・娘さん達が主体)
- 合併して八代市となった旧鏡町は、シカメガキの原産地である。シカメガキは、マガキの半分ほどの大きさで、戦後出荷されたアメリカでは「クマモトオイスター」の名で知られている（生ガキを味わえる「オイスターバー」では最高メニエーの一つとされ、7～8センチの小粒な身が数百円する高級ブランド）。一方、地元では途絶えていたところ、2006年度から「復活」に向けた挑戦が始まり、3年後に実用化。
- 地元農協の融資を得て、漁師直売の「牡蠣小屋」を開店させた。当初は、高速道路のインターチェンジから40分以上もかかる立地場所の悪さから客足が危ぶまれたが、スタッフ全員（漁師のご夫人、娘さん達）が桃色のTシャツを着ていたことから、「ピンクレディー」として地元テレビ局で紹介され、話題爆発、行列のできる人気店となっている。（テレビ局で取り上げられるきっかけは、来店客がフェイスブックに写真をアップロードしたこと。）

地域経済イノベーションサイクル施策例（⑨奈良県斑鳩町）

法隆寺門前商店街の抱える課題

- 観光客の減少
→少子化による修学旅行生の減少
- 高齢化、若者の流出
→後継者難による商店街の衰退
- 町内の連携不足
→法隆寺のみ拝観し、周辺地区は通らざるだけ（おちてなしの発想不足）



総務省と金融庁の連携

古民家改装、屋台設置、情報ディスプレイ導入
 [総務省]地域経済循環創造事業交付金 1,800万円
 + 南都銀行融資 1,800万円

斑鳩町 立ち上げ支援

南都銀行 事業継続支援

(斑鳩産業株式会社)

雇用の創出 1,160万円/年

地元原材料の活用 1,750万円/年



通過型観光→滞在型観光（参拝客を街へ）

- ・ まちあるき観光拠点整備事業
築140年の古民家（井上邸）を活用して、カフェに改装し、まちあるきの拠点として観光客に開放
- ・ 商店街活性化事業
空き家・空き地を活用して、屋台を設置し、人の流れと客だまりを創出
- ・ 情報発信事業
町内各所にデジタル屋外型ディスプレイを設置し、休日は観光情報の発信、平日は地元住民に暮らしの情報を発信

連携

商工会・観光協会・商店街・県立大学等

人の流れを変える

フリーマーケット「常楽市」
出会いの場「寺コソ」
(共同開催)
(平成25年度～)



斑鳩町を流れる竜田川が発祥
「竜田揚げ上げプロジェクト」
(商品開発、情報発信)
(平成25年度～)



モニターツアー企画
「おとなの修学旅行」
(平成24年度～)



地域経済イノベーションサイクルの施策例

②①徳島県神山町 (サテライトオフィス関連宿泊研修事業)

- ・事業主体:株式会社神山神領
- ・交付予定額:4,995万円
- ・金融機関:阿波銀行
- ・融資喚起見込額:3,500万円

(地域課題)

- ・多くの見学者を企業誘致～地元への雇用につなげる必要
- ・新規企業誘致のための宿泊研修の場がない

(事業化)

- ・古民家空き屋を再生し、周囲の環境にふさわしい宿泊設備を整備
- ・共同仕事場と連携したビジネス合宿(サテライト体験)事業を創設

(公益的效果)

- ・進出企業増加への期待
- ・空き屋の活用
- ・雇用増(宿泊業、物販業)
- ・交流人口の増加

＜事業計画＞

売上高 4,990万円	地元食材 1,390万円	= 地域資源
宿泊料 サテライト体験 講習料	人件費 1,770万円	= 地元雇用創出
	その他(委託費等) 970万円	= 域外からの購入 税負担+返済原資 +家賃償却相当
	3,830万円	

②②福岡県築上町 (米育ち鶏を活用した循環農業の実践)

- ・事業主体:城井ふる里村有限会社
- ・交付予定額:1,000万円
- ・金融機関:福岡びびき信用金庫
- ・融資喚起見込額:300万円

(地域課題)

- ・短時間滞在客の取り込み
- ・農業の担い手不足

(事業化)

- ・循環工サを活用した地元産飼料米育ち鶏や地元産野菜を提供する「ハーベキユー」の整備

(公益的效果)

- ・交流人口の増加
- ・地元農業、畜産業の振興
- ・雇用増(販売業、農業)

＜事業計画＞

売上高 2,180万円	地元産飼料 青ふ飼料 690万円	= 地域資源
ハーベキユー 販売	人件費 510万円	= 地元雇用創出
	その他(委託費等) 20万円	= 域外からの購入 税負担+返済原資 +家賃償却相当
	1,000万円	

地域経済イノベーションサイクルの施策例

②③北海道 (エゾシカ製品オリジナルブランド化推進事業)

- ・事業主体:エゾシカ食肉事業協同組合(斜里町)
- ・交付予定額:4,028万円
- ・金融機関:北海道銀行
- ・融資喚起見込額:1,000万円
- ・融資期間:3年



＜事業計画＞

売上高 3,830万円	エゾシカの 購入 2,300万円	= 地域資源
エゾシカ製品 の販売	人件費 600万円	= 地元雇用創出
	その他(事務所賃料等) 590万円	= 域外からの購入 税負担+返済原資 +家賃償却相当
	340万円	

(地域課題)

- ・投資効果
1.2倍 ((交付金額+融資額)÷交付金額)
- ・地元雇用創出効果
0.4倍 (地元雇用入件費(融資期間分)÷交付金額)
- ・地元産業直接効果
1.7倍 (地元原材料費(融資期間分)÷交付金額)
- ・課題対策利益等創出効果
0.3倍 ((取引先企業利益+販路拡大効果(融資期間分)÷交付金額)
- ・地域課題解決効果
販売物等の商品化モデル(リサイクル効果)

(事業化)

- ・エゾシカ肉の安定的流通ルート構築
(囲いテナ、一時飼養施設、札幌市内店舗、web店舗)

(公益的效果)

- ・エゾシカの処分コストの減
- ・エゾシカ肉のブランド化
- ・雇用増(販売店舗、処分場)

- ・シカの農業被害

地域経済イノベーションイノベーションの施策例

②③北海道江別市（江別市地域経済循環創造事業～豊富な資源で「麦の里えべつ」を活性化～）

- ・事業主体：江別製粉株式会社
- ・交付予定額：4,500万円
- ・金融機関：北洋銀行
- ・融資喚起見込額：4,500万円
- ・融資期間：10年



＜事業計画＞

- ・投資効果 2.0倍（交付金額＋融資額）÷交付金額
- ・地元雇用創出効果 1.8倍（地元雇用人件費（融資期間分）÷交付金額）
- ・地元産業直接効果 55.9倍（地元原材料費（融資期間分）÷交付金額）
- ・課税対象利益等創出効果 6.4倍（(課税対象利益等－減価償却費)（融資期間分）÷交付金額）
- ・地域課題解決効果 一次産品等高付加価値化モデル

売上高	28,930万円	原料差	25,160万円	地域資源
江別の小麦（ハルニエタ力の販売、施設使用料、副産物提供料、セミナー受講料）		人件費	800万円	地元雇用創出
		その他（先払代等）	100万円	域外からの購入
			2,870万円	税負担＋返済原資＋減価償却相当

（地域課題）

- ・小麦専用の保管倉庫が地元にないため、湿度温度管理の点から、品質が劣化しやすく、廃棄される小麦もある

（事業化）

- ・専用の貯蔵施設の整備
- ・研修室の新設によるブランド開発支援

（公益的效果）

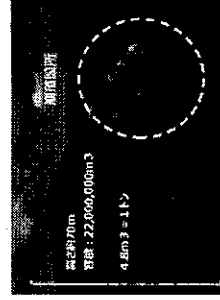
- ・地域ブランド化
- ・交流人口の増加
- ・雇用増（加工業）

地域経済イノベーションイノベーションの施策例（④北海道夕張市）

事業背景

- 防災対策
→融雪期におけるスリ山の決壊による土砂災害の発生（平成24年以降2年連続の発生）
- スリ山有効活用
→歩留率が高く、国内火力発電用等の調整炭としての需要

【スリ】
旧炭鉱で採炭され、選炭において不純物等を含むもので商品とならないとされたもの。スリ山はそれらを山間に堆積させたもの。
古いものほど石炭分を多く含んでいるのが特徴であり、珪石、低品位炭として火力発電での調整炭としての需要がある。



（夕張高松地区スリ山）

夕張再生事業

～スリ（捨てられたくず石）を「調整炭」に再生し、出荷～

初期投資1億6,500万円：水選炭プラント（導入設備）等
【総務省】地域経済循環創造事業交付金 5,000万円
＋北洋銀行融資 1億1,000万円

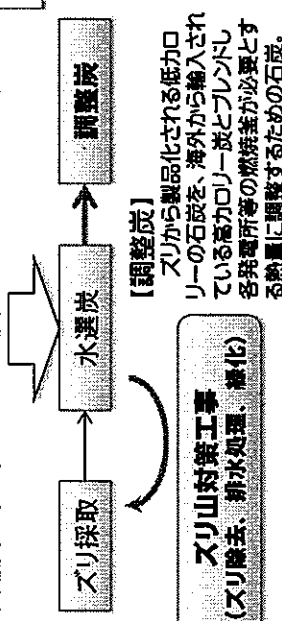
夕張市 北洋銀行
立ち上げ支援 事業継続支援



売上高	10,680万円	調整炭販売	1,830万円	税負担＋返済原資
投資総額	3,540万円	人件費	220万円	域外からの購入
		その他（先払代等）	31,400万円	

事業主体：北洋産業株式会社（夕張市内の企業）

水選炭プラントにより、石炭と土砂を比重により選別



優位性

- 【品質面】歩留率33%と良好な品質（一般的に20%で市場性あり）
- 【調製面】発電所だけでなく、道内紙パルプ業界において低品位炭の活用が活発化（安定的な需要が期待）
- 【供給面】埋蔵量が豊富であることや国内各地に搬出可能な苫小牧小牧東港に近い（輸送コストの低減）

（石炭販売商社）

スリと海外炭をブレンド製品化

（火力発電所、製鉄・製紙工場）

総務省と金融庁の連携

ナマコ機能性成分の抽出・精製施設導入

【総務省】地域経済循環創造事業交付金 5,000万円
+ 青森銀行融資 2,500万円

青森市
立ち上げ支援

青森銀行
事業継続支援

ナマコ加工廃棄物を有料処理

機能性成分を抽出し、高付加価値化

弘前大学
技術支援

ナマコ廃棄物の機能性成分分析と商品の属性に関する研究

・廃棄しているナマコの煮汁と内臓の機能性成分分析の実施
↓

・サブニン成分＝抗菌作用 (特に白癬菌) を確認
・ナマコ靴下商品の製造方法を確立



(水産加工会社)

雇用の創出
2,000万円/年

売上
5,000万円/年

機能性成分 (サブニン) を抽出し、繊維メーカーに販売 (水虫防止靴下に活用)

ナマコ加工廃棄物から機能性成分を抽出し、高付加価値化

煮汁等の有料処理が不要に (約700万円/年)

販売計画 (青森銀行によるコンサルティング)
・国内の靴下メーカーは年間約6億足。日本の水虫患者は2,500万人。機能性靴下販売ターゲットを1/5としても1.2億足。
→十分なマーケットの存在

地域経済イノベーションサイクル施策例 (29) 長崎県島原市

駆除イノシシ肉の地域ブランド化推進事業

イノシシ肉の精肉加工処理設備導入

【総務省】地域経済循環創造事業交付金 2,000万円
+ 十八銀行融資 500万円

島原市
立ち上げ支援

十八銀行
事業継続支援

(株式会社精肉屋)

狩猟肉を流通チャネルに乗せる供給サイトの課題を解決

①衛生管理の徹底

→九州地区では例のない狩猟肉加工現場で獣医師を常駐

②安定供給

→近隣自治体との連携や他の処理事業者との連携 (少量流通→コスト高→販売不振からの脱却)

③商材規格の統一

→需要に応じ、外食産業で使用しやすいよう、部位別の個別包装等を実施

地域課題の解決

○環境負荷でしかないイノシシを地域資源化しジビエブランドを確立

○駆除イノシシの処分コストの減少

○処理施設での雇用創出

(猟友会)

イノシシの捕獲

・島原半島におけるイノシシの年間捕獲頭数：4,500頭 (H25年度実績)

↓
・焼却又は埋設処分されている現状



(食品メーカー)

(外食産業・一般消費者)

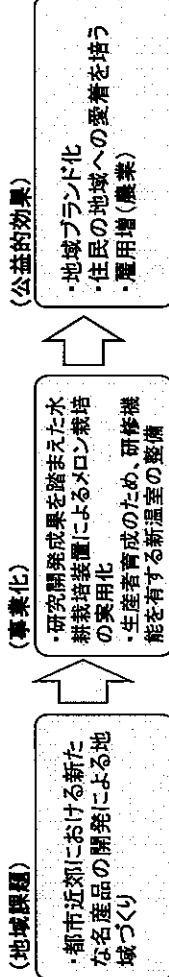
地域経済イノベーションサイクルの施策例

㉑ 東京都町田市 (まちだ式栽培システムを活用した農業とアグリビジネスに関する地域資源循環の創造)

- ・事業主体: 株式会社まちだシルク農園
- ・交付予定額: 4,000万円
- ・金融機関: 城南信用金庫
- ・融資喚起見込額: 1,000万円

＜事業計画＞

売上高 12,090万円	販売費 6,540万円	地域資源
マリン栽培装置販売 栽培指導者研修料	人件費 1,420万円	地元雇用創出
	その他(経費等) 1,860万円	域外からの購入 税金負担+返済原資 +減価償却相当
	2,240万円	

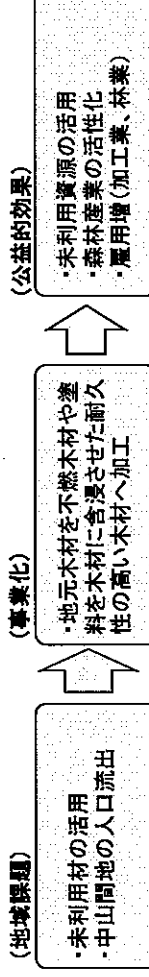


㉒ 愛知県岡崎市 (岡崎産材を活用した付加価値木材による山間地活性化及び森林保全事業)

- ・事業主体: 小原木材株式会社
- ・交付予定額: 5,000万円
- ・金融機関: 岡崎信用金庫
- ・融資喚起見込額: 5,000万円

＜事業計画＞

売上高 18,400万円	岡崎産木材 6,310万円	地域資源
不燃木材、高耐久性木材販売	人件費 3,970万円	地元雇用創出
	その他(経費等) 2,370万円	域外からの購入 税金負担+返済原資 +減価償却相当
	5,750万円	



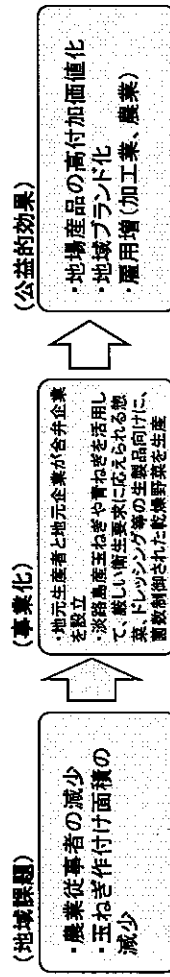
地域経済イノベーションサイクルの施策例

㉓ 兵庫県南あわじ市 (淡路島産玉ねぎを主体とした地場野菜の、低菌高風味などの差別化乾燥野菜加工事業)

- ・事業主体: (株)特産野菜ネット
- ・交付予定額: 5,000万円
- ・金融機関: みなと銀行
- ・融資喚起見込額: 5,000万円

＜事業計画＞

売上高 14,700万円	玉ねぎ、青ねぎ 5,490万円	地域資源
乾燥野菜販売	人件費 2,800万円	地元雇用創出
	その他(経費等) 4,300万円	域外からの購入 税金負担+返済原資 +減価償却相当
	2,110万円	

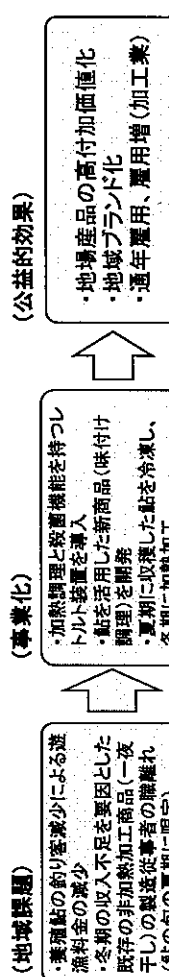


㉔ 和歌山県日高川町 (川の恵み創造事業)

- ・事業主体: 日高川漁業協同組合
- ・交付予定額: 1,000万円
- ・金融機関: きのくに信用金庫
- ・融資喚起見込額: 500万円

＜事業計画＞

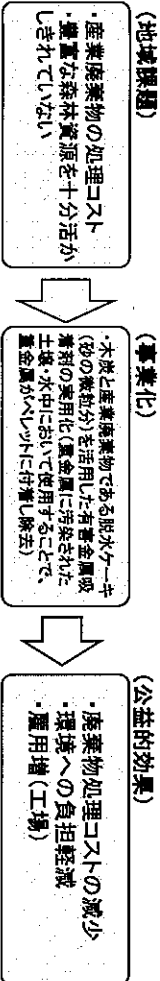
売上高 1,540万円	鮎鱈餅料 470万円	地域資源
鮎加工品販売	人件費 500万円	地元雇用創出
	その他(経費等) 160万円	域外からの購入 税金負担+返済原資 +減価償却相当
	410万円	



地域経済イノベーションサイクルの施策例

① 島根県奥出雲町 (地域資源および産業廃棄物を活用した「重金属吸着材・不溶化材」製造事業)

- ・事業主体: ISKソリューション株式会社
- ・交付予定額: 4,800万円
- ・金融機関: 山陰合同銀行
- ・融資喚起見込額: 2,000万円

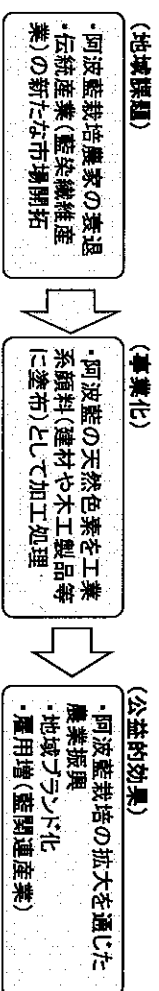


＜事業計画＞

売上高 15,000万円	人件費 1,960万円	地元雇用創出
木材粉等 460万円	その他(経費等)	域外からの購入 税金等十返済原資 十策面償却相当
重金属吸着材 販売	1,970万円	460万円

② 徳島県 (「阿波藍」を活用した地域経済の好循環の実現)

- ・事業主体: 大利木材株式会社(徳島市)
- ・交付予定額: 1,700万円
- ・金融機関: 阿波銀行
- ・融資喚起見込額: 1,400万円



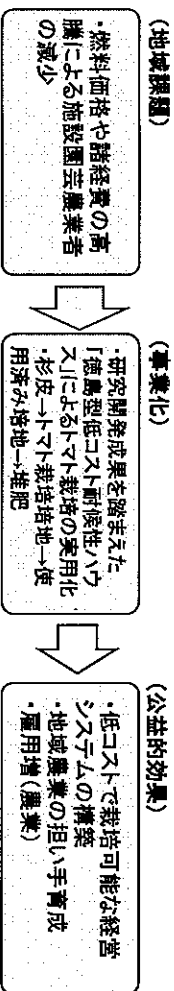
＜事業計画＞

売上高 2,850万円	円流産 260万円	地域資源
藍染料販売	人件費 800万円	地元雇用創出
	その他(経費等) 1,500万円	域外からの購入 税金等十返済原資 十策面償却相当
	290万円	

地域経済イノベーションサイクルの施策例

③ 徳島県 (徳島型世代トクト生産システムを活用した地域経済循環)

- ・事業主体: 徳農種苗株式会社
- ・交付予定額: 5,000万円
- ・金融機関: 阿波銀行
- ・融資喚起見込額: 5,000万円

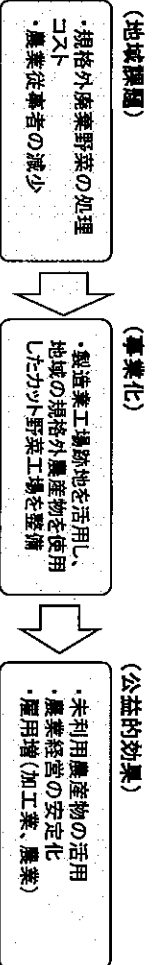


＜事業計画＞

売上高 10,950万円	特許バリエーション 2,920万円	地域資源
トクト生産システム 杉浦種苗株式会社販売	人件費 1,400万円	地元雇用創出
	その他(経費等) 3,090万円	域外からの購入 税金等十返済原資 十策面償却相当
	3,280万円	

④ 熊本県合志市 (挑戦し、農業で、雇用を」の好循環イノベーションを実現させる農業成長産業化事業)

- ・事業主体: 株式会社ツレッシュ工房
- ・交付予定額: 5,000万円
- ・金融機関: 肥後銀行
- ・融資喚起見込額: 10,000万円



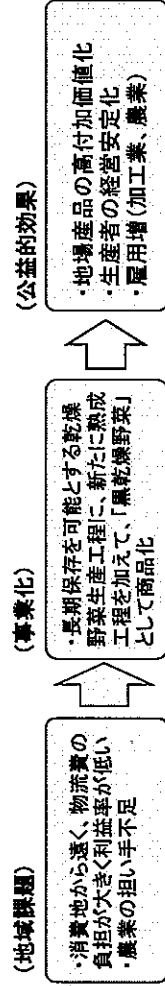
＜事業計画＞

売上高 36,000万円	地元農産物 14,750万円	地域資源
加工野菜販売	人件費 5,270万円	地元雇用創出
	その他(経費等) 13,880万円	域外からの購入 税金等十返済原資 十策面償却相当
	2,110万円	

地域経済イノベーション・サイクルの施策例

③ 鹿児島県鹿屋市（熱成による『鹿児島・「黒」乾燥野菜』の全国・アジア展開プロジェクト）

- ・事業主体：株式会社オキス
- ・交付予定額：4,870万円
- ・金融機関：鹿児島銀行
- ・融資喚起見込額：3,000万円



<事業計画>

売上高 8,180万円		地元産物 3,540万円	地域資源
黒乾燥野菜販売	人件費 1,890万円	地元産物 3,540万円	= 地域資源
	その他(送料費等) 120万円	地元産物 3,540万円	= 地元産物産出
	2,610万円	地元産物 3,540万円	= 域外からの購入 税金返上返済原資 + 家賃補助相当